

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- G l y m 4 (I g E シングルスアレルギー) : 項目コード 4 6 5 4
- H e v b 6 . 0 2 (I g E シングルスアレルギー) : 項目コード 4 6 5 5

受託開始日

平成 28 年 2 月 1 日 (月) 受付分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／仙台市宮城野区扇町 1-1-6 TEL 022-236-9345
中部支社／名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター 遠州予防医学研究所
保健科学東日本 日本厚生団衛生科学研究所
日本ノーバメディカル研究所 湘南医化学検査センター
い が く 小 田 原 衛 検
組 織 科 学 研 究 所 相 模 医 研
ケーアイエー細胞病理研究所 東部メディカルセンター
カスタムメディカル研究所

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
4654	I g E シングルアレルゲン G l y m 4 (f353)	血清 0.4 mL ※ 1	A 1-1 冷蔵	FEIA 法	0.35 未満 UA/mL	2 ～ 4 日	110 点 免疫 ※ 2	
4655	I g E シングルアレルゲン H e v b 6.02 (k220)	血清 0.4 mL ※ 1	A 1-1 冷蔵	FEIA 法	0.35 未満 UA/mL	2 ～ 4 日	110 点 免疫 ※ 2	

※1 アレルゲン検査において、多項目を同時に依頼の場合、下記算出式に基づいた必要量をおよその目安としてご提出下さい。

$$\text{アレルゲン必要量算出式} = [0.3 + (0.1 \times \text{依頼項目数})] \text{ mL}$$

※2 特異的 IgE 1430 点を限度として算定する。

▼ 臨床的意義

Gly m 4（大豆由来）は、主要な大豆アレルゲンコンポーネント（アレルギー原因食品から抽出されるタンパク質中の単一のタンパク質）の一つであり、大豆のクラス 2 食物アレルギーの原因物質であることが報告されています。

大豆を原因とするアレルギーには、即時型食物アレルギーとクラス 2 食物アレルギー（感作アレルゲンと症状発現の原因アレルゲンが異なる病態で、一般の食物アレルギーと区別する為、この様に呼んでいます。）が知られています。クラス 2 食物アレルギーはハンノキ・シラカンバ等のカバノキ科花粉に対して IgE を産生し、その後、花粉中の蛋白質と類似した蛋白質を含む大豆加工品（豆乳や水分を多く含む豆腐など加工の程度が低い大豆食品で症状を呈することが多い）を摂取することで、大豆との交差反応により誘発されます。

また、既存の f 14 大豆と比較し、大豆加工品の摂取により誘発されるアレルギー群における臨床的感度が優れていることから、大豆加工品により誘発されるアレルギーの診断補助に有用であると考えられています。しかし、Gly m 4 以外のアレルゲンコンポーネントが原因で、アレルギーを発症した症例もあるため、f 14 大豆も同時に測定することをお薦めいたします。

Hev b 6.02（ラテックス由来）はラテックスアレルゲンコンポーネントの 1 つであり、日常的にラテックス製品に接触することで発症するラテックスアレルギーの主要アレルゲンとして知られています。また、臨床的特異度が既存の k 82 ラテックスと比較して優れていることから、ラテックスアレルギーの診断補助に有用であると考えられます。しかし、臨床的感度は既存の k 82 ラテックスの方が優れているため、k 82 ラテックスと合わせて測定することで、精度の高い診断が可能になることが期待されます。

▼ 参考文献（臨床的意義）

福田 恭子, 他: 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会雑誌 1(2): 124-130, 2007. (Gly m 4)

A. Yagami, et al.: Allergology International 58(3): 347-355, 2009. (Hev b 6.02)